

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 市原中央高校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒290-0215
千葉県市原市土宇 1481-1

E-mail : i-chuo@ny.airnet.ne.jp

Website : http://www.kimigaku.ed.jp/ich/

児童生徒数：男子 401名 女子 39名 合計 794名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

平成 25 年度は、多くの国際交流行事を実施した。まず、6月に英語コース3年生が国際事情研修を行なった。新聞博物館を訪問し、元 Daily Yomiuri 編集長より、英字新聞の編集及び製作の講義を受けた。実際に生徒一人ひとりがパソコンの前に座り、英字新聞を製作する体験を行なった。

さらに、大学生による国際交流団体 AIESEC（アイセック）のメンバーとの英語によるディスカッションを実施した。一橋大学及び津田塾大学において、国際交流活動を積極的に行なう学生達との交流は双方にとって、大変に有意義な企画であったと言える。また、JICA 横浜において、タイ、ウガンダ、サモア、中国から来日し、横浜国立大学において学ぶ留学生との交流を行ない、それぞれの国が抱える問題などについて、英語によるディスカッションを行なった。留学生による自国文化紹介では、伝統舞踊と一緒に踊る機会もあり、楽しい時間を過ごすことができた。

7月には、一般生徒対象の海外研修に加え、英語コース2年生を対象としたオーストラリア語学研修旅行を実施した。本年度は、ユネスコアシストプロジェクトからの助成金を受け、ビデオ会議用カメラとマイクを購入。5月より交流校と Skype を活用したビデオ会議を継続的に実施してきた。その成果もあり、現地生徒との交流は、例年以上にスムーズに行なわれた。クイーンズランド教育省指導のもと、有機栽培農家を訪問して学ぶ環境保護学習プログラムや海洋生物学者による生態系保護について学ぶプログラムなど、ユネスコスクールで提供される教材をより体験的に学べるように発展させた。さらに、8月には英語コース1年生を対象に、韓国ソウル市内にある英語村での英語研修と現地高校との交流を行なった。また、9月にはオーストラリアの交流校より10名の生徒が来校。本校生徒宅にホームステイをしながら、授業参加や日本文化を学ぶプログラムを体験した。ビデオ会議や相互訪問による交流の成果が実を結び、姉妹校提携を締結することとなった。

11月には、市原ロータリークラブ招聘による、マレーシア生徒5名が来校。ホームステイをしながら、授業参加や陶芸体験など、日本文化に触れるプログラムを実施した。

2月には「幕張アジア総合学科」を開催。タンザニア、南アフリカ、ミャンマー、パキスタン、ウズベキスタンから来日し、幕張の JETRO で学ぶ研修生との異文化交流会を実施した。この他にも、アメリカ、韓国、イギリス、アイルランドへの長期派遣留学、さらにアメリカからの長期交換留学生の受け入れも行なった。

10月には、約3ヶ月間の日程で、インドネシア人の大学生をインターン研修生として受け入れ、英語でインドネシア文化を紹介する特別講義を実施したほか、市内で昨年にユネスコスクールに加盟した市原市立辰巳台西小学校を訪問しての交流を行なった。図書館や廊下の掲示板を利用して、インドネシアと日本の文化や生活習慣の違いを紹介したポスターを展示するとともに、すべての教室にインターン研修生が訪問し、交流の機会を持った。

ボランティア活動にも、インターアクトクラブを中心に力を入れ、生徒が主体となって取り組んだ。東日本大震災、台風により甚大な被害を受けた大島、フィリピンの被災者のために全校生徒に募金を呼びかけ、日本赤十字及び国際ロータリークラブを通じて寄付を行なった。また、約9年にわたって実施をしているエコキャップ回収運動や無人駅の清掃活動は、地域の人々の協力を得て、活動の輪を広げている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）